

第 5 回理事会議事録

日 時 平成 30 年 1 月 6 日 (土) 15:00~17:00
場 所 本会事務所 会議室

理事総数及び定足数 総数 19 名、 定足数 10 名

出席理事数 15 名

(出 席) 理 事 巴 昭彦、高橋宏幸、伊東賢二、中村伸治、大川剛史、足達麻衣、山中こず恵、
大野貴史、佐々木俊一、柳本禎久、楠永倫也、岡林史朗、菊地真司、秋田和宏、
萩野孝弥。
監 事 清水雅明、楠瀬正哲。
(欠 席) 理 事 藤田純二、三好裕司、板山和幸、中田暢将。

議 題 決議事項

第 1 号議案『入退会の承認』について
第 2 号議案『高知県学術大会』について
第 3 号議案『その他の議案』について

1. 報告事項

決議事項に先立ち会長および各担当理事より以下の報告が行われた。

〈会 長〉

(1) 第 3 回中四国地域責任者(会長)会議報告について

平成 29 年 12 月 1 日(金)徳島県郷土文化会館にて会長会議が開催された。

1) 熊代正行日放副会長講演『日本診療放射線技師会の活動状況について』

2) CSFRT2017 報告(徳島)

①演題数 140 演題 ②参加登録数 627 名(確定) ③情報交換会参加数 266 名

(10/24 : 132 名, 11/1 : 210 名, 招待者+実行委員込 : 251 名, その後追加 15 名)

④協賛企業 寄付金 7 社, 広告掲載 31 社, 企業展示 25 社

3) CSFRT2018 進捗状況(広島)

会 期 : 平成 30 年 11 月 3 日(土)・4 日(日)

会 場 : JMS アステールプラザ(広島市中区加古町 4-1)

テマ : 『過去から未来への提言』

大会長 : 今田直之、隅田博臣 実行委員長 : 木口雅夫 副実行委員長 : 西丸英治

①参加登録予定 700 名 ②演題募集期間 平成 30 年 7 月 1 日(日)~31 日(火)

③情報交換会募集 400 名(グランドプリンスホテル広島) シャトルバス 10 台

4) 第 34 回日本診療放射線技師学術大会進捗状況(山口)

会 期 : 平成 30 年 9 月 21 日(金)~23 日(日)

会 場 : 海峡メッセ下関および下関市生涯学習プラザ(下関市豊前田町)

前登録 : 平成 30 年 2 月 5 日(月)正午~7 月 31 日(火)終日

演題募集期間 : 平成 30 年 2 月 5 日(月)~平成 30 年 5 月 15 日(火)正午迄、期間延長無し
宿泊場所の確保は、下関市と小倉市に分散することを前提にしている。

(2) 香川県診療放射線技師会創立 70 年記念式典について

日 時 : 平成 30 年 1 月 20 日(土)14:00~17:00

会 場 : JR ホテルクレメント高松

- 14:00 記念式典
15:00 中澤靖夫会長講演、等
16:00 「接遇術」講演
高知県より代表として 1 名出席する。

(3) 他団体との交流について

日放と関係の深い公明党と、臨床検査技師会、栄養士会の祝賀会等の案内があった。
(※ 理事会の了解を得られたので、それぞれ手分けして出席する。)

〈副会長〉

(1) (高橋副会長)

- ①被ばく相談員助成制度規程(案)等について
被ばく相談員育成金の素案となる資料作成した。
②収支報告について
平成 29 年 12 月末までの収支月報の入力をおこなった。
③平成 29 年度技師長会について
平成 29 年度技師長会案内資料を作成した。
④RFL について
来年度の開催に向けアンケート集約と提出をおこなった。

(2) (伊東副会長)

- ①CSFRT2019 大会長について
平成 29 年 12 月 1 日（金）徳島県郷土文化会館で開催された技術学会中国四国支部理事会にて
CSFRT2019 の大会長として承認された。
②技術学会中四国支部セミナー開催について
平成 30 年度に高知県で技術学会中四国支部セミナー開催される。高知県技師会に後援をお願
いする。また参加協力もお願いする。
(本会として後援を了解した。参加協力も支援する。)

〈学 術〉

(1) 第 5 回講習会について (中村理事)

テーマ PSP の画像保存、検像、レポート管理について
日 時 平成 30 年 3 月 24 日(土) 14:00～ 中会議室

(2) 研修会と Ai 講演について (大川理事)

- ①平成 29 年 12 月 24 日、J A R T 主催の災害支援技師の研修会へ参加した。
②高知県警で Ai の死体検分の講演をおこなった。

〈地区・企画〉

(1) CSFRT2017 の技師会特別企画について (中山理事)

- ①技師会特別企画としてアンガーマネジメントの講演が行われた。
高知からは 7 名の参加があった。
②CSFRT2018 の技師会企画「女性の働き方」についての打ち合わせを行った。
2018 年 2 月から 3 月にかけて全ての診療放射線技師を対象にアンケート調査を行う。
回答は、QR コードを読み取って行う予定。(QR コードを読めない場合は紙での回答となる。)
問い合わせは、各県 CS9 実行委員が担当する。
③CS9 実行委員である横田壽賀子氏は平成 29 年度で退任
実行委員は各県 2 名となっており、平成 30 年度の実行委員の選出をお願いする。

(2) 中央西地区講習会について(山中理事)

平成 29 年 12 月 16 日 (土) あんしんセンターにて開催した。16 名(会員 13 名、非会員 3 名)の参加があった。

(3) (佐々木理事)

特になし。

<編集・広報>

(1) 特になし(大野理事)

<事務局>

(1) 平成 29 年度会費収入報告 (平成 29 年 12 月 30 日) (巴)

・平成 29 年度会費	172 名	1,032,000 円
・平成 28 年度会費	17 名	102,000 円 (平成 27 年度会費 2 名分含む)
・平成 28 年度賛助会費	9 社	250,000 円
☆会費収入合計		1,384,000 円

・放射線高知広告料	7 社	140,000 円
・漏洩線量測定料	2 件	40,000 円
・事業受託費	1 件	30,000 円
☆事業費収入合計		210,000 円

(2) 平成 29 年度会員報告 (平成 29 年 12 月 30 日) (巴)

・会員総数	211 名 (名誉会員・新入会員・転入含む)
新入会	2 名 (横田珠実: クリニックグリーンハウス, 池 央: 近森病院)
転入会	1 名 (榮田達也: 高知大学附属病院)
退会	8 名 (希望退会 5 名、未納退会 3 名)

2. 決議事項

(1) 第 1 号議案『入退会の承認』について

以下の入会について審議の結果、承認された。

入会者: 池 央 (近森病院)

(2) 第 2 号議案『高知県学術大会』について

理事集合: 8:30

総合司会: 佐々木理事

総合受付: 柳本理事

会場設営: 大野理事を中心におこなう。

以下の『プログラム』に基づいて審議し、検討の結果承認された。

日 時 平成 30 年 2 月 4 日 (日)

会 場 高知医療センター くろしおホール

日 程 9:00~ 9:20 受 付 (一般・座長・演者)

9:25~ 9:30 開会の挨拶 巴 昭彦

9:30~10:30 一般演題 (座長)

1. CT 造影剤副作用アンケート報告&当院での CT 造影剤副作用報告

高知医療センター 和田 佳晃

2. CT ストレス撮影における椎体新鮮圧迫骨折評価の有用性について

～X 線単純撮影との活用～

四万十町国保大正診療所 大川 剛史

3. 局所励起を使用した T1 強調 variable flip angle(vf1)-3D-TSE の検討
もみのき病院 萩野 孝弥
4. 術中MR I の画質に及ぼす周辺機器の影響
高知大学医学部附属病院 澤田 昌孝
5. 腹部大動脈石灰化と下肢血管疾患との関連性
高知高須病院 吉名 佳祐
6. 小児胸部撮影における撮影条件の検討
高知大学医学部附属病院 切詰 力斗

10:35～11:05 メーカーセッション 30 分

演題名 『日立 MRI 最新技術紹介』 (司会) 伊東 賢二
演 著 株式会社日立製作所ヘルスケア
画像診断営業部 新井 一秀 先生

11:10～12:00 一般演題 (座長)

7. 当院 VF 検査におけるオートとマニュアル透視の被ばく線量比較
近森リハビリテーション病院 高橋 宏幸
8. 検査スタッフが知っておきたいCT装置周辺の被ばく線量
高知大学医学部附属病院 大黒 和輝
9. 一般撮影X線装置の表示N D D、E P D、実測値との入射皮膚線量の比較
高知大学医学部附属病院 小笠原大介
10. 一般撮影におけるマスタ作成について
いづみの病院 和田 貴恭
11. ネットワーク構築について～H I S 更新に向けて～
高知大学医学部附属病院 湊 侑磨

12:00～12:40 昼休憩

12:45～14:15 特別講演 90 分 (司会) 巴 昭彦
演題名 『2025 年対応を目指した改定とは』
～診療報酬改定に向けての背景と考え方～
演 著 株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニット
J I R A 経済部会長 野口 雄司 先生

14:25～14:30 閉会の挨拶 高橋宏幸

(3) 第 3 号議案『その他の議案』について

以下の検討事項について審議した。

- 1) 放射線管理士および放射線被ばく相談員助成制度規程の制定について
高橋副会長が作成した資料を元に常務理事会で検討した。
①放射線管理士の助成金 2 万円。被ばく相談員の助成金は 7 万円。
②助成金制度の認定取得者の役割について一部変更した。
詳細は別添の標記諸規程案資料参照。
審議の結果条文と契約書を再検討し、3 月の理事会に再提出し再審議する。

2) CSFRT2019 開催責任者選任の承認について

大会長、副実行委員長として下記 2 名が選出され、審議の結果承認された。

大会長：巴 昭彦 副実行委員長：高橋宏幸

- 3) 平成 30 年度収支予算書の確認と検討について
例年の項目に加え CSFRT2019 開催の準備として、CSFRT2018 の出張費を計上した。
審議の結果予算案は承認された。
なお、最終予算案はメールで確認頂き、税理士事務の確認を得た上で電子申請を行う。
- 4) 来年度の業務拡大に伴う統一講習会の日程について
下記の日程で承認された。
 - ①平成 30 年 7 月 15(土)、16(日)、高知市総合あんしんセンター (予定)
 - ②平成 31 年 2 月 23(土)、24(日)、四万十市立市民病院 (予定)
- 5) ボウリング大会とソフトボール大会の開催について
ボウリング大会は平成 30 年 2 月 24 日 17:30 より葛島ボウルで開催する。
また、ソフトボール大会について審議の結果今年度は開催しないこととなった。
- 6) CSFRT2018(広島)へ視察のための費用援助について
CSFRT2019 の高知県開催に向けて、下記活動の実施と応援のため協力して頂ける理事等に宿泊費の一部支給について承認された。
視察活動の詳細と援助費用の規定については下記のとおり
 - ①会場・受付付近で CSFRT2019 資料の配布等の宣伝活動
 - ②大会閉会式への出席と次年度大会長挨拶
 - ③情報交換会での CSFRT2019 開催のアピール活動と開催責任者の挨拶
 - ④CSFRT2019 の宣伝用動画の作成と会場での放映依頼
 - ⑤運用・運営の視察
援助費用は旅費規程に基づき宿泊費の上限額 8,000 円を一律に支給する。
派遣の条件は、原則として理事及び委員とするが、必要に応じて一般会員も認める。

以上をもってすべてすべての議案の審議が終了した。17 時 00 分議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

平成 30 年 1 月 12 日

会長 巴 昭彦 ㊞

副会長 高橋 宏幸 ㊞

副会長 伊東 賢二 ㊞

監事 清水 雅明 ㊞

監事 楠瀬 正哲 ㊞